

中期計画シート(概要版) ①事業の全体構成

<p><b>事業名: 放置竹林伐採と竹資源の有効活用を通じた、地域における環境保全と地域活性化のための協働取組事業</b></p>	<p>記入日:2017/2/10</p>	<p>記入者:山村公人(㈱B2S代表取締役、NPO法人筑後川流域連携倶楽部・会員)</p>
---	----------------------	---

①この取組がどうして必要なのか

- ・現在表面化している問題はなにか
- 適正管理された竹林の減少/荒廃放置竹林の増大(地下茎の伸長)
- ・タケノコ農業従事者の高齢化/担い手不足
- ・食生活の変化による需要の低迷
- ・プラスチック製品の台頭による資材としての竹材需要低迷など
- ・放置した場合にどのような問題が生じるか
- ・優良農地、森林への浸食被害
- ・土砂崩れなど災害誘発
- ・竹林の繁茂による生物多様性の毀損

②この取組でどのような状況の達成を目指すか

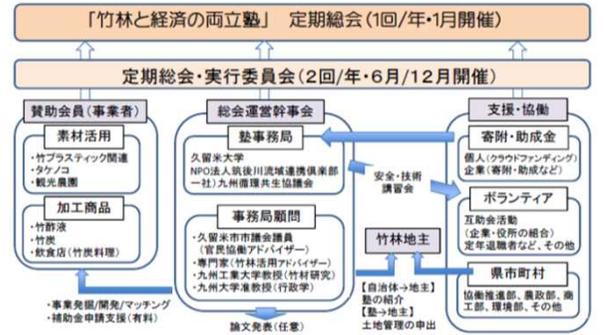
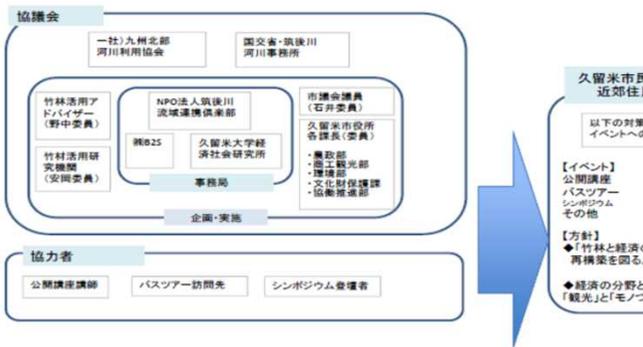
- ・2017年度時点
- ◆任意団体「竹林と経済の両立塾」の設立(定款、規約などの整備)
- ◆アクションプランの2018年度版の策定と組織的なPDCAサイクル構築
- ◆アクションプランに基づく個別事業の推進(竹材、タケノコ)
- ◆同プランに、資金調達方針、および、森林トラストなど都市/企業等と農山村の交流について、人(ボランティア)、金(寄付等)の活動方針立案し、試行
- ・2018年度時点
- ◆前年度の新たな方針と試行(資金調達、都市/企業等と農山村交流)を受け、計画策定し実施。◆活動エリア拡大の方針立案し試行
- ・2019年度時点
- ◆前年度の新たな方針と試行(活動エリア拡大)を受け、計画策定し実施。◆過去3年間の活動による、雇用増大や経済規模拡大への寄与について、調査し、2020年度以降の活動方針の検討を行う。

③この取組で具体的に何をどのように行うのか

- ・2017年度時点
- ◆両立塾としてのクラウドファンディングの企画立案
- ◆アクションプランのレベルアップ(活動の運営方法/PDCAサイクル、個別事業の推進、活動内容の追加/都市と農村の交流)
- ・2018年度時点
- ◆クラウドファンディングの実施
- ◆過去2年間の活動について、久留米市以外の自治体へ報告ならびに官民協働事業を開始するかのニーズ調査
- ◆他地域の放置竹林に係るNPO等との連携
- ・2019年度時点
- ◆久留米以外の市町村と「竹林活用アドバイザー契約」を締結
- ◆雇用増大や経済規模拡大への寄与に係る翌年度の活動方針の検討を行う。

④今年度末時点のステークホルダーとの関係性はどのようなものか

⑤3年後にステークホルダーとの関係性はどのようなもの変化しているとよいか



⑥各ステークホルダーの個別、共通のニーズは何か

【総会・運営会議】 H28年度事業の主なメンバーで組成

◆塾事務局:「九州循環共生協議会」は久留米大学・NPO・(株)B2Sの代表者で意思決定の効率化を主眼に設立

◆事務局顧問:幹事会参加は各人の本職を補完・強化

【支援・協働】

◆寄附/助成者:社会的責任や善意の充足

◆ボランティア:定年退職者など社会貢献ニーズ

◆県市町村:「竹」に直接・間接に関与する部署の業務履行

【賛助会員】:会員登録者の事業を補完・強化

【共通のニーズ】 自然共生による持続可能な発展(経済活動、社会活動)、生物多様性・里山保全、低炭素/循環型社会

⑦この取組を進める上での課題は何か

- ◆放置竹林が所在する土地の問題(境界線/所有者不明等)
- ◆自治体の協力の根拠と該当部署の選定。一般に「竹」専門の部署はなく、事象事案により担当部署が異なる。また、「前例がない」という取組を立ち上げるのに時間を要する。
- ◆竹林伐採に係る国の補助金メニューが乏しい。事業者単独で国の補助金獲得は困難(自治体との連携が必須)
- ◆放置竹林の社会的環境的問題が周知されていない。
- ◆竹に係る製品の需要喚起ができていない。結果供給者が竹林面積に比して少ない。よって、放置され、結果地下茎が伸長するという悪循環。

⑧この取組を進める上での課題にどのように対応するか

【問題の共有】(放置竹林)

- 1)「経済」「住民の生業」という観点と、「竹林の適正管理」の相関を常に認識できる機会を創出
- 2)竹林を経済活用した場合のビフォー/アフターの視覚的訴求等

【各自の動機と機能】(自然との共生・持続可能な発展)

「経済」という人間が最も敏感に反応する動機を活用し、「適正管理」という人間の機能を竹林に投影し、里山保全に取り組む。

【有機的連携/協働】 各々の社会的責務や要望などを多様なステークホルダー間で相互共有し、協働での取組を考案する。協働取組が、各自の責務や要望をいかに充たすかを共に考える。そのような機会を考え実施

⑨この取組をどのように継続させるか

以下のような、ヒト・モノ・カネを確保する

【財源(カネ)の確保】

- ・クラウドファンディング・企業からの寄附/助成
- ・国/自治体からの竹補助金

【ヒト(ボランティア・タケノコ起業家等)の確保】

- ・有償/無償ボランティアの効果的な募集と確保
- ・竹林活用に係る教育
- ・タケノコ商品流通の安定化

【モノの確保】

- ・竹林伐採用機材の充足化(上記財源の活用)
- ・土地の確保(地主との契約)

中期計画シート(概要版) ②事業スケジュール

2017年度の重点目標・事業内容				2018年度の重点目標・事業内容				2019年度の重点目標・事業内容				
<p><b>【重点目標】(達成状況)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆任意団体「竹林と経済の両立塾」の本格稼働</li> <li>◆アクションプランの2018年度版の策定と組織的なPDCAサイクル構築</li> <li>◆アクションプランに基づく個別事業の推進(竹材、タケノコ)</li> <li>◆同プランに、資金調達方針、および、森林トラストなど都市/企業等と農山村の交流について、人(ボランティア)、金(寄付等)の活動方針立案し、試行する。</li> </ul> <p><b>【事業内容】(何をどのように行うのか)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆竹林と経済の両立塾の運営事務局(大学、NPO、一般社団法人)によるクラウドファンディングの企画立案</li> <li>◆アクションプランのレベルアップ(活動の運営方法/PDCAサイクル、個別事業の推進、活動内容の追加/都市と農村の交流)</li> </ul>				<p><b>【重点目標】(達成状況)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆前年度の新たな方針と試行(資金調達、都市/企業等と農山村交流)を受け、計画策定し実施。◆活動エリア拡大の方針立案し試行</li> </ul> <p><b>【事業内容】(何をどのように行うのか)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆過去2年間の活動について、久留米市以外の自治体へ報告ならびに官民協働事業を開始するかのニーズ調査</li> <li>◆他地域の放置竹林に係るNPO等との連携</li> </ul>				<p><b>【重点目標】(達成状況)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆前年度の新たな方針と試行(活動エリア拡大)を受け、計画策定し実施。</li> <li>◆過去3年間の活動による、雇用増大や経済規模拡大への寄与について、調査し、2020年度以降の活動方針の検討を行う。</li> </ul> <p><b>【事業内容】(何をどのように行うのか)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆久留米以外の市町村と「竹林活用アドバイザー契約」を締結(含、国の補助金・交付金などへの合同申請)</li> <li>◆雇用増大や経済規模拡大への寄与に係る翌年度の活動方針の検討を行う。</li> </ul>				
行動計画	2017年度				2018年度				2019年度			
	4月～	7月～	10月～	1月～	4月～	7月～	10月～	1月～	4月～	7月～	10月～	1月～
定期総会 運営会議	<p>報告会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①両立塾の企画承認</li> <li>②定期総会の位置づけ明確化</li> <li>③プロジェクト会議メンバーの選定</li> </ul> <p>定期総会 上記+アクションプラン(当該年度)の承認</p>		<p>P会議(12月)議題の協議・承諾 アクションプランの見直し</p>		<p>①今年度アクションプラン内容の確認・共有 ②P会議(6月)の次第</p>		<p>P会議(12月)議題の協議・承諾 アクションプランの見直し</p>		<p>①今年度アクションプラン内容の確認・共有 ②P会議(6月)の次第</p>		<p>P会議(12月)議題の協議・承諾 アクションプランの見直し</p>	
アクションプラン の策定と見直し	<p>運営会議にて今年度実施内容を確定</p>		見直し		<p>運営会議にて今年度実施内容を確定</p>		見直し		<p>運営会議にて今年度実施内容を確定</p>		見直し	
プロジェクト(P) 会議(6月、12月)	<p>開催</p> <p>両立塾、個別活動ごとの実務者によるプロジェクト推進</p>		<p>開催</p> <p>取組の整理と全体共有に向けた準備</p>		<p>開催</p> <p>両立塾、個別活動ごとの実務者によるプロジェクト推進</p>		<p>開催</p> <p>取組の整理と全体共有に向けた準備</p>		<p>開催</p> <p>両立塾、個別活動ごとの実務者によるプロジェクト推進</p>		<p>開催</p> <p>取組の整理と全体共有に向けた準備</p>	
両立塾	<p>計画・実施</p>		<p>全体共有と発信の場(シンポジウム等)</p> <p>◆活動報告(含、アクションプラン)</p>		<p>計画・実施</p>		<p>全体共有と発信の場(シンポジウム等)</p>		<p>計画・実施</p>		<p>全体共有と発信の場(シンポジウム等)</p>	
アクションプラン にもとづく個別事業の展開	<p>◆クラウドファンディングの研究</p>		<p>◆クラウドファンディング企画内容の決定(事務局内承諾事項)</p>		<p>◆クラウドファンディングの実施</p>				<p>◆クラウドファンディング出資者への報告・返礼</p>		<p>◆久留米以外の市町村と「竹林活用アドバイザー契約」</p>	